

開催概要

名 称	第 25 回 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
日 時	令和 6 年 5 月 16 日 (木) 午前 10 時 00 分 ~ 午前 11 時 10 分
場 所	新潟市役所 ふるまち庁舎 4 階 402 会議室
委 員	岩佐 明彦 (法政大学 デザイン工学部) ※WEB※会長代行 岩本 潔 (新潟日報社 企画総務局次長兼資産管理運営企画部長) 高松 智子 (ユニバーサルカラープランナー協会 会長) 小沢 謙一 (新潟商工会議所 理事・事業部長) 田中 雅史 (新潟市中央区自治協議会 委員) 内田 剛二 (国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 事務所長) 佐久間 なおみ (新潟市中央区 区長)
事 務 局	新潟市 (まちづくり推進課) 国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所
施設使用者	株式会社 スノーピーク

議事要旨

■議題 1 報告事項

●事務局(新潟市)及びスノーピークから説明

- ・右岸は、4月からアウトドアミーティング、体験キャンプ、キッチンカー事業を実施中。飲食出店は、6月22日(土)から9月23日(月・振休)で実施の予定。
- ・左岸は、利用料は原則無料として昨年度から引き続き利用者の募集をしている。
- ・利用者アンケートについて、「にぎわい創出・魅力と価値の向上・取組の持続可能性」という観点で実施。分析の継続性の観点からアンケート内容は変更せずに実施する。

●委員からの主な質問・意見と回答

(右岸)

- ・楽器使用などの騒音などの制限はあるのか？また、騒音について苦情はあるか。
→禁止事項を定めており、今のところ抵触した行為はなく、苦情はない。(SP)
- ・出店者が暴力団等に該当していないかチェックはしているか。
→チェックをしている。(SP)
- ・出店応募者の採否の判断はどのような観点で行っているのか？出店者募集の周知方法はどのように行っているか？公平性の観点から、様々な方がチャレンジできるような環境がある方が良いのではないのか？
→出店応募者の採否の判断については、賑わいに貢献できるかという観点で判断をしている。出店者募集の周知方法は、ミズベリング事務局のHPで募集している。(SP)
- ・キッチンカーの出店者の応募は増えているか？どんどん活用してもらいたい。
→増えている印象(SP)

・「ミズベリング」の取組の市民への理解度向上について、事務局（市、国）取り組んでもらいたい。

→昨年度に続き、SPのテレビ出演によるPRや新聞、市報などのほか、今年3月に開業した新潟駅バスターミナルのデジタルサイネージの活用の準備を進めている。理解度に関しては、「ミズベリングの取組み自体をPRする」という観点よりは、ミズベリングという手法を活用して、各地域がそれぞれの地域をPRしてもらいたいと考えている。（事務局）

・キッチンカー出店エリアの利用者動線と、やすらぎ堤利用者の往来動線との接触について検討しているか。

→通路部分を1.5m確保することとし、SPの方で現場の利用状況の管理をしている。往来については、これまで苦情を頂いていない。（SP）

・過去に、通路部分を横断する電源ケーブルが、ランナーなどの支障になったこともあったので、引き続き配慮をお願いしたい。

（左岸）

・左岸利用時において、タープの設置など、利用者が休むようなスペースがあると良いと思うがその点はどう考えているか？

→基本的には、既存の東屋、ベンチなどの利用を想定しており、場合によっては、出店者と相談し、その都度対応をお願いすることを想定。（事務局）

・左岸の利用が難しいのは、左岸側に戸建て住宅やマンションなどがあり、居住者からの苦情があるからなのか？

→そういった部分はある。大きな騒音が出ないような活用方法となると思う。（事務局）

■議題2 今後のスケジュール

●事務局（新潟市）から説明

●委員からの主な質問・意見と回答

・令和8年度にミズベリング信濃川やすらぎ堤の10周年という事だが、これまでの開催状況について、一覧表などの形でまとめるといいのでは。

→今後、これまでの総括としてまとめていきたい。（事務局）